

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

三重県

行 事 名 称	文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	令和7年1月26日（日）9時00分から9時30分まで
実 施 場 所	志摩市志摩町和具2989番地 示現山和具観音堂 敷地内
主 催 者	和具自治会、志摩町防火協会、志摩市消防本部志摩消防署志摩分署、志摩市消防団志摩方面隊、志摩市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

示現山和具観音堂において火災発生、早期に国指定重要文化財である「銅像如来像」、三重県指定重要文化財である「木造仏頭」及び「木造十一面觀音立像」の複製品を安全地帯に搬送する。

訓練の内容

和具自治会による火災発見、通報、初期消火（消火器）、文化財（代替品使用）の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。そして全国初実装であるドローン×AI×スマートグラスを組み合わせた救助支援システム「3rd-EYE」も使用。

参加者及び役割分担

和具自治会：初期消火、119番通報、文化財（代替物使用）搬出、避難誘導

地域住民：避難訓練

志摩分署及び消防団：文化財（代替物使用）搬出、放水訓練、救助支援システム「3rd-EYE」の使用、
全体統括、講評

志摩市教育委員会：現場立会い

特に工夫した点

消防訓練終了後、地域住民へ救助支援システム「3rd-EYE」の機能の説明を実施。（人の形の検知、ズーム機能、赤外線機能など）また、和具観音堂の管理者から和具観音堂の歴史等の講話また実際に文化財の見学を実施。

問題点・課題

今回の和具観音堂の立地は非常に道が狭く、消防車が近くまで入ってこられない位置にある。本格的な放水が始まるまで時間を要することが予想されるので、いかに迅速に初期消火の処置ができるかが大切である。（消火器の場所を把握し、迅速な初期消火に繋げるなど）

その他

志摩消防と合同で訓練と、文化財保管施設への立ち入り検査を行っている。今後も地元消防団、地区住民への啓発、文化財愛護の意識付けなどを継続していく。

訓練風景

※別紙参照

訓練風景



放水訓練



救助支援システム「3rd-EYE」からの上空撮影